

平成27年度財政援助団体等監査

1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等の監査

2 監査の実施日

平成28年6月28日(火)・29日(水)、30日(木)、7月1日(金)・4日(月)

3 監査の対象とした補助金等

平成27年度において、市が交付した補助金等のうち50万円以上の件数は150件ありました。この中から次の17件を監査の対象としました。

(1) 青年就農給付金(篠原 光)	1,500,000円
(2) 青年就農給付金(小沢 麗嗣)	1,500,000円
(3) 新技術・新製品研究開発事業補助金(東北テクトロン株)	1,000,000円
(4) 中小企業振興補助金(東北テクトロン株)	1,601,800円
(5) 茅野市パートナーシップのまちづくり推進事業補助金(上場沢区)	1,500,000円
(6) 茅野市農業マスタープラン推進事業補助金(丸山営農組合) (集落営農稲作機械導入支援事業)	8,000,000円
(7) 茅野市民館開館10周年記念事業補助金(株地域文化創造)	7,000,000円
(8) 地域の文化・芸術活動支援事業補助金(株地域文化創造)	1,240,000円
(9) 茅野市民館管理運営費(株地域文化創造)	175,000,000円
(10) 福祉バス「ビーナちゃん」運行に係る経費補助金(アルピコ交通株)	9,000,000円
(11) 茅野市バス運行費補助金(白樺湖線・北八ヶ岳ロープウェイ線) (アルピコ交通株)	10,000,000円
(12) ちの地区コミュニティ運営協議会補助金 (ちの地区コミュニティ運営協議会協議会)	2,500,000円
(13) 小屋フェス運営会議補助金(株S u M i K a 小屋フェス運営会議)	3,000,000円
(14) 小津安二郎記念・蓼科高原映画祭(小津安二郎記念・蓼科高原映画祭実行委員会)	5,000,000円
(15) こどもまつり事業負担金(こどもまつり実行委員会)	700,000円
(16) どんぐりネットワーク茅野事業負担金(どんぐりネットワーク茅野)	1,200,000円
(17) 玉川どんぐり保育園施設整備補助金(社会福祉法人 信州福祉会)	9,809,300円

4 監査の方法

現地において、所管課に対しては、補助団体から提出された申請書に基づき内容と事務処理の状況を、補助団体に対しては、関係書類及び事業の内容等の確認を行いました。

5 重点をおいた監査項目

- (1) 補助等事業は、申請した計画及び交付条件に従って履行されているか。
- (2) 補助等事業の事務処理及び経理は、適正に執行されているか。
- (3) 補助金等交付の目的は達成されているか。

6 監査の結果

財政援助団体等に係る事務執行は、概ね適正かつ効率的に行われているものと認めました。

7 各補助事業等に対する所見

- (1) 青年就農給付金 篠原 光
- (2) 青年就農給付金 小沢 麗嗣

① 事業概要

青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後の所得を確保する為に、150万円の給付金を給付する事業です。給付額は、年額150万円、就農直後5年間の給付となります。

② 事業費 6,750,000円

③ 給付金額 単身者 1,500,000円×3名

夫婦 2,250,000円×1組

④ 所見

若い就農者が、イチゴ栽培、ブロッコリー、トマトを生産し、それぞれ大規模で合理的・科学的栽培ハウス等を利用し営農をされている。イチゴ農家は、以前、就業先で習得したノウハウを生かした生産により、成果を上げながら取り組まれ、井戸水の改良には苦慮しながら、近代農業のモデルになりえる事業展開をされている。制度については、Iターン就農者にとっては、魅力的な制度であるが、年数が経過すると、その後の継続的な支援に結びつかないことや、地元出身で、もともと基盤があり、即戦力となる就農者には利用できない現状があること、受給者の経営安定のためのサポート支援が今後必要となるのではないかと考えます。人件費のウェイトが高く、天候に左右されやすいなど、収益の安定には時間がかかることや、販路の開拓などが今後の課題となっています。

(3) 新技術・新製品研究開発事業補助金 (東北テクトロン株)

① 事業概要

茅野市新技術・新製品研究開発事業補助金交付要綱に基づいて、市内の中小企業者が独自に又は大学等と連携して行う工業における新技術又は新製品の研究開発に関する取組みに要する経費に対して補助をするもので、補助率は対象経費の2分の1以内100万円を限度としている。

② 事業費 5,876,055円

③ 負担金額 1,000,000円

④ 所見

新技術は製品に活用され、販売シェアの拡大につながっている。
新分野での情報端末を中心とした、新分野・新規顧客、成長市場への参入を大いに期待するものです。

(4) 中小企業振興補助金 (東北テクトロン(株))

① 事業概要

茅野市中小企業振興補助金に基づき、市内への工場設置事業(土地、建物、償却資産の新設や増設)に要する経費(課税標準額)に対して補助を行う。

② 事業費 114,420,140円

③ 負担金額 1,601,800円

④ 所見

市内への工場立地の促進や設備投資により、地域経済の活性化や雇用の拡大に寄与されている。生産ラインの拡大のため、自社工場の確保にも積極的に取り組まれているため、今後の支援により、地元企業振興の中核企業として大いに期待できる。

(5) 茅野市パートナーシップのまちづくり推進事業補助金 (上場沢区)

① 事業概要

公民館分館の経年老朽化に伴う大規模改修を行い、地域コミュニティの場が安全に快適に活動できるよう、補助事業を活用した。

② 事業費 12,960,000円

③ 補助金額 1,500,000円

④ 所見

地域活動の拠点としている公民館を維持管理していくことで、施設の耐久性が強化され、災害時の避難所としての機能強化に繋げることが重要であると考えます。安全性の確保からも補助金を有効利用していただきたい。

(6) 茅野市農業マスタープラン推進事業補助金 (丸山営農組合)

① 事業概要

農業は、食料の供給とともに、多面的機能を有し、農業の持続的な発展とその基盤である農村の振興を図る必要があり、近年、高齢化、混住化等により農業の生産活動の停滞、後退や集落機能の低下が見られ、農地・農業用用水等の資源の保全管理が困難になりつつあるなど、多面的機能の発揮に支障が生じる事態が懸念されている。米の消費量の減少、価格の低下、多大な機械設備投資による農家が増えており、担い手不足も必然となっている。個人経営から組織経営への誘導を進めるため、機械経費の削減に対する支援を行うことにより、地域農業の継続と発展を図ることを目的としている補助金です。

② 事業費 8,470,000円

③ 補助金額 8,000,000円

④ 所見

集落営農稲作機械導入支援事業として、高齢化等により、営農者が少なくなる中で、効率性のよい機械を導入したことで、稲の刈り取り作業をスムーズに行うことができるようになった。現在、83戸の農家で構成しているが、オペレーターの高齢化や燃料費・修繕費の増加や人工賃の確保などが課題となっている。

(7) 茅野市民館開館10周年記念事業補助金 (地域文化創造(株))

① 事業概要

平成25年、26年度と茅野市民館開館10周年記念事業として、「茅野と言えば、何」というアンケートを地域に投げかけて、ワークショップ形式の催事を重ねて、地域特性「八ヶ岳、縄文」をテーマに、市民館の持つ機能を活かした市民協働による「表現」を創作する企画「縄文アートプロジェクト」として実行委員会を結成し舞台公演「となりの縄文人」を軸とし、美術館機能を活かした「アート・イン

スタレーション」コミュニティ機能を活かした「縄文マルシェ」の事業の創作プロセスを大切にすると共に、エンターテインメントフェスティバルとして楽しめる「アート表現」を創出した。

- ② 事業費 13,051,968円
- ③ 負担金額 7,000,000円

(8) 地域の文化・芸術活動支援事業補助金 (株) 地域文化創造

① 事業概要

平成17年度の開館より、劇場機能と地域を深めるべく毎年度ワークショップ事業を実施してきた。平成27年度は、「クリエイティブパートナーになろう！」銘うち、財団法人地域創造の研修プログラム助成事業として実施しました。第一線で活躍する講師陣を迎え、ほぼ年間を通したプログラムを実施している。

- ② 事業費 1,860,830円
- ③ 補助金額 1,240,000円

(9) 茅野市民館管理運営費

① 事業概要

株式会社地域文化創造は、茅野市と茅野市民館の管理運営業務について指定管理協定を締結し、茅野市民館条例・規則と茅野市民館管理運営計画に基づく貸館業務・施設等維持管理業務・美術館管理運営業務・自主事業企画運営業務を行っている。

- ② 事業費 218,759,214円
- ③ 補助金額 175,000,000円

④ 所見 (7) (8) (9)

市民一人ひとりが主人公になれる場を理念に、今まで積み上げてきた市民館の市民創造活動の蓄積の成果を、今後一層の情報発信をしていくとともに、課題としている茅野市民の評価、活動内容を浸透させるべく、今後の公共文化複合施設として、文化振興、まちづくり、人づくりへ繋げていただきたい。

新たな10年に向かうために、この大きなイベントを足がかりにし、地域への定着と情報発信をしていただくことをのぞみます。

(10) 福祉バス「ビーナちゃん」運行に係る経費補助金

① 事業概要

茅野市福祉バス運行に関する覚書に基づき茅野市の要請を受けてアルピコ交通株式会社が運行する福祉バス。福祉バス3台で11路線を月曜日から金曜日まで運行する。アルピコ交通株式会社が運行することにより生じた損失に対して、1台あたり300万円を上限として補助金を交付して、バス運行を支援する。

- ② 事業費 12,183,667円
- ③ 補助金額 9,000,000円

④ 所見

バスの形態が、公共交通バスへの補助金と統合していくとの計画と聞いていますが、交通弱者や障害のある人にも、ビーナちゃんバスの切り替えをスムーズに行えるよう十分周知されたい。バス運行会社の状況は、茅野区間においても同様であり、運転者不足、運行基準の強化等により、赤字状況にはあるが、福祉バスは、買い物弱者や通院者の福祉サービスの一環であるため、輸送形態が変わっても、利用者への説明をしていただき円滑な切り替えが行われるよう努めていただくと共に、補助金の継続はもとより、運行のプロとしての前向きな研究・検討を期待します。

(11) 茅野市バス運行費補助金（白樺湖線・北八ヶ岳ロープウェイ線）

① 事業概要

アルピコ交通㈱が運行する白樺湖線、北八ヶ岳ロープウェイ線を茅野市原村・生活交通ネットワーク計画に位置付け、茅野市バス運行費補助金交付要綱に基づき、運行補助金を交付しバス運行支援する。

② 事業費	12,159,907円（白樺湖線）
	3,915,520円（北八ヶ岳ロープウェイ線）
③ 負担金額	7,560,000円（白樺湖線）
	2,440,000円（北八ヶ岳ロープウェイ線）

④ 所見

平成28年10月からのバス交通再編に伴い、生活路線としての運賃収入は、現状より下がることが予想されるが、利用者のニーズに添った形で、効率性を考えた生活路線の運行と観光客の利便性に繋がる路線の確保に努められたい。

(12) 地域活動助成事業補助金 ちの地区コミュニティ運営協議会

① 事業概要

平成18年に7つの行政区をコミュニティづくりの基本単位として、地域コミュニティの活発化と住みよいまちづくりを目的として発足。行政区や、各地区の団体等の行事の実施が重なることから、地域活動助成事業を活用し貸出備品の購入貸出をし、地域コミュニティの推進活動を円滑に行えるよう支援する。

② 事業費	4,567,689円
③ 補助金額	2,500,000円

④ 所見

地域コミュニティ運営助成事業補助金を有効的に使われています。地域の住民の活動がより活発に行えるよう、引続きの支援をお願いしたい。

(13) 小屋フェスティバル補助金 小屋フェス運営会議代表 ㈱S u M i K a

① 事業概要

7月25日から8月2日までの間、尖石遺跡西側広場にて、小屋展示を中心に、小屋づくり・DIYのワークショップ、物販、飲食などのマルシェ、茅野市への移住相談や空き家の紹介、音楽ステージなどを開催した。自然と共生しながら縄文人が豊かな社会を築いてきた、21世紀を生き抜くための楽しみながらの暮らし方を茅野市から発信することを目的とした事業である。

② 事業費	30,918,543円
③ 補助金額	3,000,000円

④ 所見

地域創生のため、茅野市を訪れてもらうきっかけづくりと茅野市を認知してもらうきっかけになったのではないかと思います。

今後は、テーマを「食」、「衣」に継続的なイベントとして、受け継がれ地元の出店者が多く、協力していただくような体制が必要であると感じます。

(14) 第18回小津安二郎記念・蓼科高原映画祭補助金
(小津安二郎記念・蓼科高原映画祭実行委員会)

① 事業概要

世界でも評価の高い映画界の巨匠である、小津安二郎監督が蓼科高原に滞在して、「無藝荘」を仕事場としてきたことから、多くの方に、小津映画・小津のこころに触れていただくため、継続して映画祭を開催している。

② 事業費	10,128,618円
③ 補助金額	5,000,000円
④ 所見	

日本映画の原点の「小津映画」を継続していることで、首都圏・中京圏などからの映画ファンも訪れており、全国的な知名度を獲得しているが、今後、小津映画を知る世代が高齢化しており、持続可能な体制を確保していけるように、地域への浸透や魅力のあるイベントとしての対応がより必須になってくるのではないかと感じます。

(15) 第34回 茅野市こどもまつり負担金 (茅野市こどもまつり実行委員会)

① 事業概要

次代を担う子どもたちが、心身ともにたくましく、すこやかに成長し、体験や遊びを通して家族の絆を深め、子どもたちが主体性を発揮しながら、日頃の成果を発揮する場の提供をすることで、自らの夢や目標を見つける機会として継続している事業である。

② 事業費	900,398円
③ 補助金額	700,000円
④ 所見	

イベントを楽しむだけではなく、実行委員に携わる子どもたちが自ら主体性をもって、行事に参画していることで、息の長いイベントを継承してきている。参加者も2千人と多く定着して市民ニーズの高い事業である。

こうした目的を持ち効果的な事業を継続していくためには、負担金の確保は必須であると感じる。遠隔地域からも幅広く参加者がいることから、継続事業としての長い歴史を感じるとともに、地区の運動会等の行事の調整、駐車場の確保が課題となっている。

(16) どんぐりネットワーク茅野活動支援事業負担金

どんぐりネットワーク茅野 代表幹事

① 事業概要

子育て・子育てに関わる活動団体等を結んだ通称どんぐりネットワーク茅野は、パートナーシップのまちづくりの手法により、子どもが生まれる前から18歳になるまでを一貫して応援するどんぐりプランを推進し、年間を通じて情報提供やこども館の運営応援をしている。

② 事業費	1,070,336円
③ 補助金額	1,200,000円
④ 所見	

主な用途は、情報発信事業支援への負担金と言えますが、効果も検証しながら、効率的に運営していただきたい。

(17) 玉川どんぐり保育園施設整備補助金 社会福祉法人 信州福祉会

① 事業概要

玉川どんぐり保育園建設において、平成17年9月26日付締結の「玉川どんぐり保育園施設整備補助に関する覚書」により、社会福祉法人信州福祉会が独立行政法人福祉医療機構から融資を受け、平成18年度から平成37年度まで償還する1億6千万円の元金および利子の償還額を補助するものです。

② 事業費	9,809,300円
③ 補助金額	9,809,300円

④ 所 見

開園から10年が経過し、園の定員数で受入れが出来ている状況であり、施設の環境、保育状況からも安定している経営がされています。地域との連携により、地域に根差した保育運営が行われていると感じます。経理等においても元本の返済は当補助金により、適正に行われておりました。経営の安定とともに、幼保小連携教育のもと、子どもの自立を見守っていただきたい。

信州福社会の当園の他に4つの保育園の経営を行っていることから、他の園も含めた全体の運営状況を把握しておくことが必要であると思われる。

少子化対策、保育士確保など、将来に向けての課題への対応をチェックしていく必要があり、保育士の確保については、幼児教育課の支援は必要と考える。